

取扱説明書・保証書

販売元／保証者 **シチズン時計株式会社**
 本社 〒188-8511 東京都東区東上 西田町6-112
 AEC06 ⑧

保証とアフターサービス

<保証について>
 正しくご使用で、保証期間内(日本国内のみ有効です)に、無料修理いたします。保証書は日本国内のみ有効です。

<修理用品の保有期間について>
 弊社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただきます場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>
 弊社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の状態でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によって初期精度の復元が困難な場合があります。

<転居・ご贈品の場合>
 保証期間中に転居されたり、ご贈品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<定期点検(有償)について>
 ・防水性能について
 防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に長くご使用いただくために2〜3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品交換が必要ですので、パッキンなどの交換も依頼ください。

・分解修理(内装修理)について
 時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備が必要となります。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<その他お問い合わせについて>
 保証や修理、その他不明点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意(必ずお読みください)

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 危険** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

- このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

商品の特長

ソーラーテック
 光を当てることで充電して時計を動かします。光エネルギーを電気に変換する光発電機能を搭載し、定期的な電池交換が必要ありません。一度充電が完了すると、光が当たらなくても約6ヶ月間時刻を刻み続けます。

電波受信による時刻合わせ機能
 標準時刻情報を自動的に受信して時刻を合わせます。標準時刻情報は、福島と九州の電波送信所から送信され、受信環境の良い局を選択して受信します。時刻からは電波を発信しませんので、人体や医療機器への影響はありません。

パワーセーブ機能
 光が当たらない場所に連続して7日以上、時計を保管した場合、午前00時00分00秒になった時点で針の運針が止まります。(パワーセーブ作動中も精度範囲内で時刻を刻んでいます)
 ・**時計に光を当てると、パワーセーブが解除されます。**
 ・**パワーセーブ解除後は、強制受信を行ってからご使用ください。**

<保護シールについて>
 時計のガラス部分や金属部分(裏蓋、バンド、中留め)にシールが貼られるように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期使用されますと、裏蓋の汚れ、油汚れなどにより電池消費が速くなる。二次電池の各層が早くなくなります。定期的な分解掃除(有料)をお奨めします。

<バンド調整について>
 お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時に力を加える場合があります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

残り時間を知る
 回転ベゼルのマークを目標の時刻(60分以内)の位置に合わせます。分針からマークまでの時間が残り時間です。

ソーラーテック 取り扱い上の注意

【時計は常に充電を心がけてお使いください】
 ■ 日常生活などで着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいためご注意ください。
 ■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

注意 充電上の注意

- 充電中の時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
- 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないよう注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

二次電池の交換について

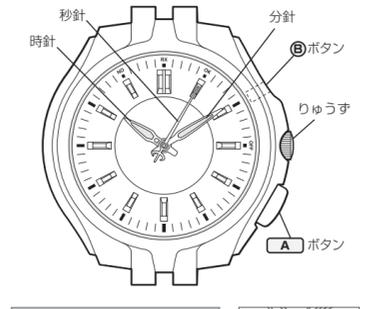
この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期使用されますと、裏蓋の汚れ、油汚れなどにより電池消費が速くなる。二次電池の各層が早くなくなります。定期的な分解掃除(有料)をお奨めします。

【警告 二次電池の取り扱いについて】
 お客様、時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤動作の防止のため、幼児の手が届かない所に保管してください。なお、時計は、二次電池を取出した場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

【警告 指定の二次電池以外は使用しないでください】
 この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでても時計は動作しない場合になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して周辺の破壊および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は必ず指定の二次電池をご使用ください。

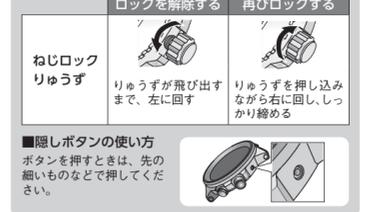
1. 各部の名称

a. ボタンとりゅうず
 電波受信の結果の見かたは「3-d 電波受信結果の確認」をご覧ください。
 ※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。
 ※ボタンの形状はモデルによって異なる場合があります。



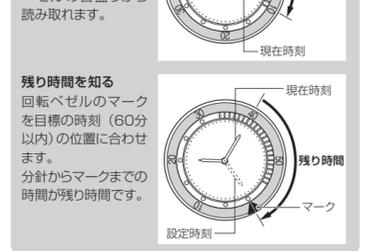
◆特殊な構造のボタン/りゅうずについて
 モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

■ねじロックりゅうず・ねじロックボタンの使い方
 時計を操作するときは、ロックを解除してください。



◆回転ベゼル付きの場合は
 回転ベゼルのマークを、潜水時の経過時間や設定した時間に対する残り時間を知るのに利用することができます。
 ・回転ベゼルのマークは、水中にもぐったときなどの安全性を考慮し、時計回りには回転しないようになっています。

経過時間を測定する
 回転ベゼルのマークを現在の分針の位置に合わせます。経過時間(分)を回転ベゼルの目盛りから読み取れます。



残り時間を知る
 回転ベゼルのマークを目標の時刻(60分以内)の位置に合わせます。分針からマークまでの時間が残り時間です。

名称	文字板または裏蓋	仕様	使用例
非防水時計	—	非防水	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	3気圧防水	○
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 8 bar	5気圧防水	○
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○

【注意 人への危害を防ぐために】
 ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計をはずすなどご注意ください。
 ・強い運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。

2. 充電する

a. 充電する
 文字板に直射日光や、蛍光灯の光を当てて充電します。
◆上手な充電のポイント
 ・時計を外したときも、時計の文字板面に太陽光が当たる、明るい場所に置くこと、常に時計は正しく動き続けます。
 ・日常生活袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいためご注意ください。
 ・月に一度は直射日光を当てて、充電してください。光の当たらない場所で保管する場合は、保管前に十分に充電してください。

b. 充電時間の目安
 充電時間の目安は下記の通りです。ただし、モデルにより充電時間は異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

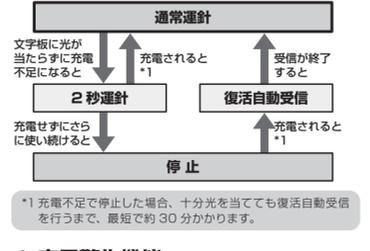
【注意】 充電不足で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心がけてご使用ください。

※充電時間は連続照射時間です。

環境	明るさ (lx、ルクス)	通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	3分	45分	13時間
屋外(曇天)	10,000	12分	2時間	40時間
30W 蛍光灯の20cm下	3,000	40分	5時間	150時間
屋内照明	500	4時間	35時間	—

・充電完了後、充電しなくても時計が停止するまで: 約1.5年(パワーセーブが作動しているとき) 約6カ月(パワーセーブが作動しないとき)
 ・充電警告表示〜充電不足で時計が停止するまで: 約2日(持続時間は電波受信回数などによって異なります)

c. 充電のしくみ
 2秒運針になったときは充電してください。充電不足になると、下のように動作が切り替わります。



*1 充電不足で停止した場合、十分光を当てても復活自動受信を行うまで、最短で約30分かかります。

d. 充電警告機能
 充電不足になると、秒針が1秒運針から2秒運針(2秒毎に1回2目盛りずつ進む動作)に切り替わります。2秒運針を始めから約2日以上経過すると、充電不足で時計は停止します。充電不足にならないように、常に充電を心がけてください。

【電波受信】【電波受信結果の確認】【時差の修正】【基準位置確認と修正】の最中に充電不足が発生すると自動的に操作を中断し、操作前時刻に戻り、2秒運針をはじめめます。

【注意】 2秒運針しているときは定時受信、強制受信および手動での時刻修正はできません。

◆過充電防止防止機能
 ・充電が完了すると、それ以上には充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。
 ・どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能などに影響を及ぼす心配はありません。

3. 電波を受信して時刻を合わせる

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。
 (受信方法)
 安定した受信をするために、時計を腕から外し、9時位置を電波送信所方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。また、受信中は時計を動かさないでください。受信にかかる時間は、約3〜15分です。

- 金属のしゃへい物や車輦により受信しにくことがあります。建物内などでは、できるだけ窓近くで受信してください。(下記◆電波受信可能地域の目安) 参照)
- 日の出、日の入り前後は、電波を受信しにくい場合があります。この時間帯を避けて受信してください。

◆受信が困難な場所について
 電波ノイズが発生しやすい場所や、電波の届きにくい環境条件下では電波を正確に受信できないことがあります。極端に高温や低温の場所/鉄筋コンクリート建物の中、高層ビルや山などの合間、地下/適中の携帯電線の近く/車、電車、飛行機の中/高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く/テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の電化製品やOA機器の近く

a. 定時受信
 毎日午前2時または、4時に自動的に受信をはじめます。時間になったら上記(受信方法)の要領で受信してください。(午前2時に受信できなかった場合は、午前4時に受信します。)
 ● 受信を開始すると、秒針がRXに移動します。
 ● 受信中は秒針が回転し、受信開始時からの時間差を自動的に修正します。通常運針になるまで時計を動かさないでください。
 ● 受信が完了すると、秒針がRXから通常運針になります。
 ● 【電波受信結果の確認】で受信結果を確認してください。

b. 強制受信
 いつでも受信を行います。受信環境が変わり定時受信できなかった場合などに行ってください。
 (受信手順)
 1. 上記(受信方法)のように時計を置いてください。
 2. 【A】ボタンを約2秒以上押し、秒針がRXに静止したらボタンから指を離してください。

【注意】 RXで針が停止してもそのままボタンを押し続けると、電波受信OFFに切り替わります。

● 受信中に秒針が回転し、受信開始時からの時間差を自動的に修正します。通常運針になるまで時計を動かさないでください。
 ● 受信が完了すると、秒針がRXから通常運針になります。
 ● 【電波受信結果の確認】で受信結果を確認してください。

c. 復活自動受信
 充電不足で時計が止まった後、十分に充電されると、1度だけ自動的に受信を行います。

● 受信中、各針は停止します。
 ● 受信中に時刻を確認したい場合は、【A】ボタンを2秒以上押し、受信をキャンセルしてください。各針は時刻表示に戻ります。
 ● 復活自動受信に失敗した場合は、充電不足で停止したときの時刻に戻り動き始めます。この場合は1秒運針していますが時刻がちがっているため、「強制受信」または、「手動で時刻を合わせる」を行ってからご使用ください。

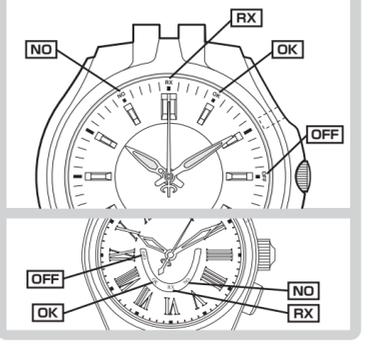
◆電波受信可能地域の目安
 この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。受信可能地域の目安は次の通りです。ただし、時間帯や季節、天候などにより、電波状況が変化し受信可能地域が変化することがあります。受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。
 (電波送信所)
 ・おおたかや山標準電波送信所(福島局)
 ・はがね山標準電波送信所(九州局)
 (標準電波について)
 日本国内の標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。標準電波の送信状態の確認は、情報通信研究機構・日本標準時プロジェクトのホームページ(http://jij.nict.go.jp/)をご覧ください。

d. 電波受信結果の確認

電波受信に成功したか、失敗したかを確認できます。
 (確認手順)
 【A】ボタンを1秒押します
 ↓電波受信結果表示位置に秒針が移動します
 OK : 電波受信成功です。成功しても時刻が合わない場合は「基準位置確認と修正」を確認してください。
 NO : 電波受信失敗です。強制受信または環境を変えて受信を行ってください。
 OFF : 電波受信機能がOFFにセットされています。

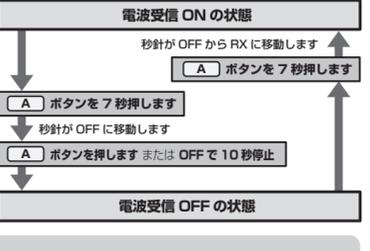
● 受信結果は10秒間表示した後、自動的に通常運針に戻ります。または、表示中に【A】ボタンを押して離すと通常運針に戻ります。
 ● 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により時刻表示にわずかなずれが生じます。

◆受信結果の表示位置
 電波受信結果などは、秒針が文字板上の結果表示位置を指し示すことで分かるようになっています。



e. 電波受信のON/OFF切り替え

電波受信機能はON/OFFを切り替えることができます。海外などでまれに日本の標準電波を受信できずしまう地域では、受信を停止させることにより日本の時刻に戻るのを防ぎます。



※標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。



4. 手動で時刻を合わせる

a. 時刻の合わせ方
 1. りゅうずを引き出します。
 ● 秒針が0秒位置に停止します。
 【注意】 0秒位置で停止しない場合は、基準位置がずれている可能性があります。【基準位置の確認】を参照してください。
 2. りゅうずを回して時刻を合わせます。
 1クリックで1分ぶんの各針が運動して動きます。(右回しで進み、左回しで戻ります)
 ● りゅうずを素早く連続回転(2クリック以上)すると針が連続運針します。
 ● 連続運針を止める場合はりゅうずを右または、左に1クリックします。
 ● りゅうずが1回転する間に、カチッと指先が軽いクリック感を感じます。
 3. 時報などに合わせてりゅうずを押し込んで終了です。

b. 1時間単位での時刻合わせ

1. りゅうず通常位置で【B】ボタンを押します。
 ● 秒針が高速で往復運針後、通常運針になりましたら修正可能の合図です。
 ● 10秒間何も操作しないと、自動的に修正状態が解除されます。
 2. りゅうずを引き出さないで回転させると、針が高速で1時間ぶん動き、通常運針に戻ります。(右回しで進み、左回しで戻ります)
 ● 通常運針後、10秒以内でしたら何度も操作を繰り返すことができます。
 3. 時刻合わせ後に【B】ボタンを1回押します。
 ● 修正状態が解除されます。また、10秒間何も操作しないと、自動的に修正状態が解除されます。

c. 時差の修正

電波受信機能を停止(受信OFF)させてから修正することで、海外で日本の標準電波を受信しても、日本の時刻へ戻ることを守ります。電波を受信しない状態では、月差±15秒の精度で時刻は動きません。

1. 電波受信機能をOFFにします。
2. 「1時間単位での時刻合わせ」を行います。
3. 数時間の時差がある場合は、操作を繰り返し行って時刻を合わせてください。

日本時刻に戻す際は「受信ON」にした後、「強制受信」で時刻を合わせてください。

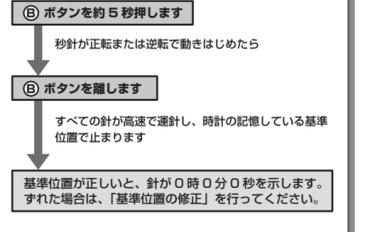
故障かなと思ったら

状況	確認事項	対処方法
電波受信を開始しない。	秒針がRXに移動しますか?	【A】ボタンを押し続け、秒針がRXを指したら、指を離してください。
電波受信はできるが、時報等の時刻と合わない。針がNO/RX/OFFのちよどの位置を指さない。	電波受信OFFになっていませんか? 基準位置が正しくセットされていますか?	【電波受信のON/OFF切り替え】を参照してください。 基準位置を確認してください。基準位置が正しくない場合は、「基準位置の修正」を参照して合わせ直してください。
電波を受信できない。(受信可能地域内で)	電波をしゃへいする物やノイズが発生する物が近くにありませんか? または、窓から遠い場所で受信していませんか? 受信が完了するまで(通常運針に戻るまで)時計を動かさないでください。	電波をしゃへいする物や、ノイズが発生する物を避けて、時計の9時位置を窓際に向け受信してください。場所、方向、角度を何度か変えて窓際の受信しやすい場所を探してください。 ◆受信が困難な場所について。◆電波受信可能地域の目安)を参照してください。
	電波受信OFFになっていませんか? 電波受信OFFに移動していませんか?	受信が完了するまで(通常運針に戻るまで)時計を動かさないでください。 【電波受信のON/OFF切り替え】を参照してください。

5. 基準位置確認と修正

電波時計は基準位置をもとにして、受信した電波時刻を針で表します。外部からの強い衝撃や磁気などの環境におかれた場合、基準位置がずれる可能性があります。ずれた状態で使用されると、電波を受信しても時刻が正しく表示されません。電波受信しても時刻が正しくない場合は、基準位置を確認し、修正してください。

a. 基準位置の確認



b. 基準位置の修正

1. りゅうずを引き出します。
 2. 針を0時0分0秒の基準位置に合わせます。
 3. りゅうずを押し込み、新しい基準位置を記憶します。
 4. 【B】ボタンを押すか、そのまま2分放置すると通常運針へ戻ります。
- 強制受信を行ってからご使用ください。

6. オールリセットについて

1. りゅうずを引き出し、【A】、【B】ボタンを同時に押しします。
2. すべての針を0時0分0秒の基準位置に合わせます。
3. りゅうずを押し込み、【B】ボタンを押すか、そのまま2分放置すると通常運針へ戻ります。
4. 時刻が合わない場合は、時刻合わせを行ってください。

©シチズン時計株式会社 2024